

○事業所名	わんすてっぴ		
○保護者評価実施期間	2025 年 1 月 29 日 ~ 2025 年 3 月 22 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2025 年 1 月 29 日 ~ 2025 年 3 月 22 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 3 月 22 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事前のミーティングや打ち合わせ、確認等は適宜、実施が出来ている。	・サービス前に打ち合わせを行う。 ・送迎後にその日の児童の気になった様子や特記事項を共有している。	・11時スタートのため、打ち合わせが不十分になることがあるので、前日に確認出来るようにする。
2	・個別支援計画の作成が適切に行われている。	・個別支援計画を児童発達支援管理責任者がアセスメント、モニタリングを基に作成している。 ・保護者と話し合いを行い、支援方針を相談し、それを基に作成している。	・必要に応じて他スタッフもアセスメントやモニタリングに参加出来る体制を検討する。 ・質の向上のため、研修の実施を検討する。
3	・保護者と子どもの情報を共有したり、日ごろからコミュニケーションが出来ている。	・お迎え時に情報を共有している。 ・連絡帳で様子を共有している。 ・必要に応じて、LINEも活用している。	・共有する内容の質が向上出来るように、他スタッフと児童の様子を伝えたり、付箋に残したりを行えるように意識付けする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・空間、環境等のハード面に課題がある。 ・人員配置は適切だが、より良い支援をするためには不足を感じる部分がある。	・環境面については、階段等の対応は難しいが、マット等の段差がそのままになっている所がある。 ・棚やパーテーション等の設置が不十分な部分がある。(耐久に課題がある) ・児童のイレギュラーな事態に対応しきれない部分がある。	・構造化する等、児童が1つの場所で過ごすのではなく、空間を広く活用出来るようにする。 ・マットや棚等の危険箇所を探し、必要に応じて固定や変更等の対応を検討する。 ・配置基準は適切だが、より良い支援を考えると不足を感じることもある。その際はスポットの職員を配置する等、工夫する。
2	・緊急対応マニュアルや非常災害時の備えについて、保護者への周知が不足している。 ・また、スタッフ間でも不足を感じている部分がある。	・緊急対応マニュアルや非常災害時の備えはしているが、研修が不十分な部分がある。 ・保護者への周知をする機会が不足している。	・研修を引き続き、実施していく。 ・研修の内容をブログで発信していく。
3	・地域交流や外部への関わりが少ない。 ・また、保護者同士の交流の場が提供出来ない。	・地域交流の場や外部との関わり場に参加する体制や人員確保、準備等が難しい。 ・働いている保護者や交流の場を望んでいない保護者も多く、交流の場の提供が難しい。	・地域のキットパスのイベントや郵便局のイベント、他の福祉事業所主催の夏祭りに過去参加した。回数を多くするのは難しいが、参加の機会があれば体制を整え、参加出来るようにする。 ・保護者交流の場はパルフェイトの取り組みを活用する。そのため、チラシ配布等、取り組みを知って貰うようにする。